



シルバーだより

No. 276

平成 25 年 6 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～ 荒川シルバー大学の百歳学生も夢ではない ～

相談役 稲川君江

いよいよ 25 年度の授業が始まりました。先生や教室の仲間との希望に満ちた新しい出会いもあったことでしょう。

生涯学習時代を迎え、学生の皆様の学びたいという要望にこたえつつ、今年も荒川シルバー大学も 30 周年を迎えます。

若い時には、生きる事に又家事や育児に追われ、学ぶことも十分に出来ませんでした。時代も大きく変化変容した中で、自分への学びの需要が広がってきています。

日本は今、男女共(男性は木村次郎右衛門さん 116 歳・女性は大川ミサヲさん 114 歳)に世界一の長寿者輩出の誉れを持っています。百歳以上の高齢者は年々増え続けており、5 万人を超えています。20 年後には 33 万人と予測されています。



荒川区では区長西川太一郎様主導の「幸福実現都市」を目指しており、時代の先端をおこなっています。「荒川シルバー大学」は高齢者が生き生きと学んでいる大規模な知的機関の最先端でもありましょう。この活動の中で荒川区には教室設定その他の事で大変お世話になっている事を忘れてはなりません。

これから、高齢者には誰にもやってくる「老い」を最後迄「介護されない自分」を目指して克服していく事が重要な課題です。

荒川シルバー大学の学生を年齢別年齢別に区分してみました。60 歳台が 25.8%、70 歳台が 51%、80 歳台が 22%、90 歳台が 1.2%(10 名)でした。みなさんはどこに属していますか。

最高齢者は 96 歳の笠原恒子さんです。華道教室創立以来の学生で、毎月さくらバスで好きな生け花を楽しんでいらっしゃる方です。健康で仲間と楽しく学び続ける笠原さん、すばらしい事ですね。これこそ荒川区の目指す「幸福実現都市」です。

健康長寿社会に向かって「百歳の学生が学ぶ荒川シルバー大学」も夢ではない事を確信しています。

帰りたい、でも



東日本大震災被災者の皆さんの今をお聞きする

東日本大震災から2年1ヵ月が過ぎました。町屋6丁目都営住宅に避難されている方が、毎月第4金曜日1時30分から集会室に集い、交流を深めているとお聞きし、4月26日参加させて頂きお話を伺いました。この住宅には福島県、岩手県、茨城県等の方が避難されており、現在16世帯45名が住んでいるそうです。

この日は被災者の方14名、他にいろいろな形で支援している皆さんを含め、約30名が参加しました。避難されている方々の世話役を担っているIさんの進行で始まりました。最近の状況、益々巧妙になっている詐欺に注意しましょうといった話がありました。また、Hさんのハーモニカ演奏で「茶摘み」「浜千鳥」「ふるさと」等を歌いました。“兎追いしかの山、小鮒釣りしかの川……”

故郷を思い懐かしく切なく心にしみたことでしょう。

そして自己紹介が行われ、現在の心境などを伺うことが出来ました。

- ・これ程甘えていいのかと思っている。出来ることは自分でと考えている。
- ・みんなに親切にして貰って感謝している。
- ・戻るつもりはない。ここでお世話になりたい。
- ・荒川は本当に住みやすい。

しかし、このようなお話もありました。

- ・故郷から月に一度広報誌が届く。復興が進んでいる様子が見えない。住宅が出来るのは平成50年頃、それも抽選なので以前の近所の人達との交流は望めない。夫は帰りたい、浜の風にあたりたいと言っているが、迷っている。
- ・牛や豚が水に浸かっている様子を眼にした。どんなに苦しかったろう。
- ・一時帰宅で家の近くまで行ったら線量計がピーピーと鳴りっぱなし、家の周りは草ボウボウと伸び放題、家の中は埃だらけ。戻りたい気持ちはあるが現実を見ると無理だと思った。
- ・最近、家へ行ってきた。以前のように防護服は着ないが、3箇所ゲートチェックを受けた。

そして本日欠席した方の中には新しい職場へ、また資格取得のために歩み始めた方もいらっしゃいます。突然の災害に見舞われ何もかも失くし、故郷から遠い荒川に暮らすことになってしまった皆さんの複雑な思い、如何ばかりかと胸に迫るものがありました。

(広報部) 2013年4月30日

荒川区に避難して

荒川シルバー大学創立30周年おめでとうございます。私は福島県浪江町から23年4月1日に避難してきました。

東日本大震災の際はシルバー大学の皆さんに、いろいろな形で支援していただき、本当に感謝しております。早いものでもう2年も過ぎましたが、原発事故は何も進んでおらず、先行き不透明のまま不安でなりません。

当時の状況を思うとき、着の身着のまま飛び出し主人と路頭に迷い、4箇所の避難所を転々とし、最後は二本松の廃校になった針道（はりみち）小学校の体育館にたどりつきました。そこは携帯電話も通じず、外は雪、暖房もなく毛布1枚で震えておりましたところ、息子から連絡があり、東京から寒い雪道を真夜中に、迎えに来てくれるとのこと、飛び上がるほど嬉しかったです。

25年3月1日の「シルバーだより」273号にありました、亡くなられた秋山先生の御言葉

《学ぶことに生きがいを持ち、友人と談笑を楽しみ自然を楽しむ旅にも積極的に参加する。》

この御言葉を胸に秘め学んで行きたいと思っています。何とぞこれからもよろしく願いいたします。



浪江町の花「コスモス」

34 班 安部世利子

30周年アンケートその他のお知らせ

- ◆ 6月度教室において、全学生対象へアンケートを実施します。無記名ですが、複数の教室を受講している人はアンケートを記入する教室を1つ選んでいただきます。一人1枚の提出です。
- ◆ 記念誌投稿文書（400字以内）は、講師及び教室を代表して書く人は、6月28日の提出期限を厳守ください。
- ◆ 7月2日、役員会前の12時45分よりアンケート集計方法を説明します。教室代表、副代表は大会議室へ集合してください。

周年委員長 高橋建司

※写真・気功・茶道・音楽各教室講師のお言葉は都合により7月掲載となります。

◆教室紹介

書道・金曜教室

早くも書道・金曜教室で学び始めて、三年過ぎました。習い事は、書も仕事も同じで、三年や五年では半人前と昔から言われますが、その通りかもしれません。でも少しずつ苦勞が芽生えて、書道の楽しさも今は分かって来たと思います。自分の書いた字を眺め、悪い所を考えながら、早く筆が動いてくれるように頑張るのみです。今年も教室の若い方達と共に、悩みながら書道の勉強に花を咲かせたいですね。

教室代表 高野宗四郎

.....

6月の予定

期日	行事内容	講師
21日(金)	合同講義：「誰もが幸福を実感できる あたたかい地域社会を目指して」	荒川区長 西川太一郎様
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 時間：午後2時より		

◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (5月) ◆◆◆◆

- | | | | |
|--------|----------------------------|-----|---------------|
| 4月 28日 | 予算委員会 | 23日 | 24年度 会計監査 |
| 5月 7日 | 常任理事会・役員会
(開講式の件他) | 27日 | 広報委員会 |
| 13日 | 講義打合せサンパール | 28日 | シルバー便り 276号発行 |
| 23日 | 第一回講義 コンサート
「ル・ヴェルヴェッツ」 | 31日 | 講師会 |



1. **お願い**：冷房使用の季節となります。各教室代表の方は教室終了後、冷房のスイッチを必ずご確認ください。(戸締り・忘れ物・ごみのチェックも！)

2. **忘れ物について**：気温が上昇すると共に忘れ物の件数が増えてきます。会場の管理者の方に大変ご迷惑とお世話をおかけします。身の回りの確認も各自よろしくお願ひします。

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691
(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長・田原